



川崎市社会福祉協議会  
福祉パルかわさき

# ウエーブ

wave

第79号

福祉情報をお届けします!



平成 23 年 10 月 1 日発行

【発行】  
社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会  
福祉パルかわさき  
川崎市川崎区砂子1-10-2  
ソシオ砂子ビル9階  
電話：044 (246) 5500  
FAX：044 (211) 8741  
mail：info@kawasakikushakyo.or.jp

【発行人】 雷田順人  
【編集人】 岸 茂信



## 共同募金運動 街頭募金

(昨年度の様子)

ご協力  
ありがとうございます。  
ごぞいます。



### 羅針盤

## 「たすけあいの心と 人の温もりを大切に」

大師第二地区社会福祉協議会 高橋 順子

東日本大震災に依る津波の恐ろしさと、原発事故の目には見えな  
い被ばくの重大さを痛感しながら  
も、「がんばろう! 日本」の言  
葉に人々のたすけあいの心と、優  
しさ、強さを感じております。

赤い羽根共同募金は、地域福祉  
を推進する活動を支援する、たす  
けあいの運動です。お互いに支  
え合い、誰もが安心して暮らせる  
社会を望みます。

大師第二地区社会福祉協議会  
は、【四谷・台町・観音・池上新町】  
の四町内で構成され社協委員が運  
営しています。

主な事業としては、「一人暮らし  
の高齢者ふれあい会食会」「小学  
校と連携しての車いす体験教室」  
「万ローリング大会」「社会を明る

くする運動」「社協賛助会員募集  
等を行い、お年寄りから子どもま  
で交流を深め、人と人との絆と輪  
作りに活動しております。

毎年実施している、赤い羽根街  
頭募金運動も社協委員が行ってい  
ます。募金活動を行う場所は、他  
の地区社会福祉協議会と相談しな  
がら川崎駅周辺を交代で決めます。

三人編成で募金活動開始『赤い羽  
根募金ご協力お願いします』と  
大きい声を張り上げると、「御苦  
労さまで」と近寄り募金箱へ・  
嬉しくなり即赤い羽根を胸につけ  
てあげます。その時ほんのひとと  
きですが、たすけあいの心と人の  
温もりを感じ嬉しくなります。



## みんな地域のサポーター

10月1日から赤い羽根共同募金運動がはじまります。  
今年も皆様のあたたかいご支援ご協力をお願いします。

赤い羽根共同募金は、“たすけあいの心”をつなぎ、誰もが安心して暮らすことができる地域を目指し、様々な福祉活動を資金面から支援する運動です。

この共同募金運動は、厚生労働大臣の告示により、10月1日から12月末日までを募金期間と定め、赤い羽根募金(10月1日～12月31日)と年末たすけあい募金(12月1日～12月31日)の2つに分けて行います。

皆様から寄せられた善意の募金は、神奈川県共同募金会を通じて、民間社会福祉施設や福祉活動団体・障害者地域作業所・社会福祉協議会等に配分され、計画的・効果的に活用させていただいております。

川崎市川崎区支会では、今年度も町会・自治会をはじめ、民生委員や地区社会福祉協議会等、多くの方々のご協力により共同募金運動を推進してまいります。

共同募金の趣旨をご理解いただき、今年もご協力いただきますようお願い申し上げます。

昨年、皆様からお寄せいただいた寄付金です。平成22年度共同募金寄付金総額  
温かいご支援ありがとうございました。 **30,386,470円**

寄付金は下記のとおり配分され、地域の福祉活動に役立てられました。

### 赤い羽根募金の使いみち

配分総額：18,495,244円

- 区内の社会福祉施設・団体 5,850,000円  
むぎの穂……………事業活動用車両購入  
川崎自立会……………事務室改修工事  
アダージオ……………パソコン購入  
サボン草……………トラック幌設備改修事業  
かもめ……………トイレ改修工事  
かりん……………複合機購入  
(特) ワーカーズコレクティブたすけあいまりん  
……家事介護サービス実施のための運営費  
(特) わいわい……配食サービス実施のための運営費  
ゆりかごの会……配食サービス実施のための運営費  
【敬称略・順不同】
- 区社会福祉協議会の事業費 6,868,000円

※県内の社会福祉施設・団体 5,777,244円



### 年末たすけあい募金の使いみち

配分総額：11,891,226円

- 年末たすけあい運動「支援金」3,285,000円  
民生委員さんのご協力をいただき、区内の母子世帯、心身障害者(児)世帯、寝たきり等高齢者世帯、災害遺児世帯など、合計657世帯へ「支援金」をお配りしました。
- 区社会福祉協議会の事業費 8,606,226円

### 社会福祉協議会では、共同募金配分金を次のような事業で活用しています。

- 10地区社会福祉協議会への活動支援、助成
- 区民生委員児童委員協議会への活動支援、助成
- 会食・配食活動等高齢者支援活動への助成
- 情報誌「ウェーブ」の発行
- ボランティアグループ等への地域福祉活動助成
- ボランティアセンター事業
- 障害者支援講座
- 福祉用具の貸出

### 区社協からのお知らせ

#### ◆年末たすけあい運動

共同募金運動の一環として実施される『年末たすけあい運動』ですが、こちらは区民の皆様からご協力いただいた募金を、区内にお住まいで介護が必要な高齢者や障害のある方など、生活上何らかの支援を必要とする方々がいらっしゃる世帯に対し、「支援金」という形でお渡ししております。この支援金は民生委員の皆様のご協力をいただいております。そのほか、川崎区社会福祉協議会が行なう地域福祉事業費として活用させていただいております。

今年も『支援金』の申請を10月31日まで受け付けております。

詳しくは下記までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



【お問い合わせ先】 社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会 電話 044 (246) 5500 FAX 044 (211) 8741

HPアドレス

<http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/>

# ふくし情報 コーナー

このコーナーへの掲載記事を  
募集しています!

次回は平成 24 年 2 月 1 日発行予定、2 月 15 日以降の記事を  
12 月 15 日までに、お問い合わせのうえ下記へお送り下さい。

〒210-0006 川崎市砂子 1-10-2 ソシオ砂子ビル 9 階

川崎市社会福祉協議会ウェブ係

電話 044 (246) 5500 FAX 044 (211) 8741

E-mail info@kawasakishakyo.or.jp

【ふくし情報コーナーについて】このコーナーは講座、催し及びボランティア募集の記事を掲載しております。なお次のものは掲載できません。

- ① 営利目的や売名を目的とするもの
- ② 政治・宗教活動に関するもの
- ③ そのほか区社協において掲載に不適当と判断するもの

## 東日本大震災 今も支援は続いています

8月の暑い日が続く被災地に支援に入ってきました。

被災から5ヶ月たって、ガレキなどはかなり整理され、ほとんどの人が避難所から仮設住宅へと移っていました。仮設住宅では周囲は見知らぬ人ばかり。「あの人がいると聞いたんだが、どこにい



▲イカ釣船は動き始めています。

るのか知っているか?」といった質問をずいぶんされました。今までの暮らしを失っている時に、頼れるのは付き合ってきた人たち。釜石市社会福祉協議会では、仮設住宅に入られた人たちを、訪問して声かけをする生活相談員を雇用して、孤独にならないよう、不安を少しでも減らせるよう取組を始めています。支援にはいった社協の職員



▲中心地の道路はずいぶん片付きました。

は、生活相談員さんと一緒に声かけをしながら仮設住宅を訪問し、生活相談員さんの業務の向上のお手伝いや、これからの業務のあり方などについて釜石市社協とミーティングを持つなど、支援の仕方にも変化が出てきています。

また戸別訪問だけでなく、「お茶っ会」というイベントを開催して、仮設住宅の住民が顔を合わせることができるような取り組みも開始しています。

半壊の家屋では、水道や電気が復旧するに伴い、営業を再開するお店が増え、家の片付けが始まり、我が家への帰宅も少しずつですが、始まっていました。

被災された方々全員が自宅に住めるようになるためにはまだまだ時間がかかりますが、孤立しないよう、不安が大きくなならないよう、地域の関係を構築しつつ、丁寧な援助をしていけるといいと思います。

## 川崎市社会福祉協議会のホームページを開設しました!

川崎市社会福祉協議会のホームページを開設し、このほど公開となりました。

これまでの広報紙、情報紙などに加え、インターネットを活用したタイムリーな地域福祉情報を発信していきます。是非ご活用ください。



川崎市社協 HP <http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/>



第  
16  
回

# 『川崎区社会福祉大会』を 開催いたします！

日時 平成 23 年 11 月 19 日 (土)

時間 午後 1 時～午後 3 時 30 分 (開場午後 12 時)

会場 サンピアンかわさきホール (川崎市立労働会館)

定員 600 名 (当日先着順)

内容 <第 1 部> 式典 (午後 1 時～午後 1 時 40 分)  
地域福祉活動に貢献した個人・団体への  
表彰状、感謝状の贈呈  
<第 2 部> 記念講演 (午後 1 時 50 分～午後 3 時 20 分)  
講師 <sup>ながしまただよし</sup> 長島忠美 (新潟県旧山古志村村長)  
『震災の思いを語る・復興を語る・未来を語る』

※参加費や事前の申込は必要ありません。当日ご自由に参加いただけます。  
ご来場の際は公共交通機関をご利用くださいますよう、ご協力お願い申しあげます。

《主催・お問い合わせ》

社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会

電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741



ほほえみ コーナー

川崎区社会福祉協議会にご寄付いただき、  
ありがとうございました。  
(敬称略ならびに寄付受付順)

フラを楽しむ会  
西原 雅代

(財)川崎市身体障害者協会  
大師支部

(平成 23 年 7 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)

ウェブ uwave  
発行月のお知らせ

H23 年度は  
5 月・8 月・10 月・2 月  
の発行です。

次号の「ウェブ」は  
2 月 1 日 発行です。

## 地域福祉活動助成事業報告

川崎区社会福祉協議会では、区民の皆様よりご協力いただきました昨年度の「年末たすけあい募金」の配分金を財源として、区内の当事者支援団体・子育て支援団体・ボランティアグループの活動を応援する事業として、「地域福祉活動助成事業」を実施しました。

今年度も「地域福祉活動助成事業実施要綱」に基づき本会川崎区ボランティアセンター運営委員会にて審査を行い、100 団体に総額 4,929,000 円の助成金を配分させていただきました。



▲平成 22 年度ボランティアグループリーダー研修

なお、区民の皆様にご協力いただきました「年末たすけあい募金」は、助成事業以外にも本会が実施する事業の事業費として活用させていただいております。